

2 こんな結果ができました

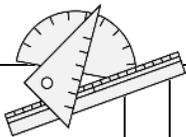
国語



4年：市をやや上回っている
6年：市と同程度である

- 漢字を正しく書いたり読んだりする力が身に付いています。
- 話す・聞く力が高まっています。
- 自分の考えを書くことに課題があります。

算数



4年：市と同程度である
6年：市より上回っている

- 基礎的・基本的な事項について理解しています。
- 正確に計算したり、面積や体積を求めたりできます。
- 文章問題を読み取り、式を立て、答えを導き出すことが課題です。

社会



4年：市と同程度である
6年：市と同程度である

- 表やグラフを読み取ったり適切な資料を選んだりする資料活用能力が高まっています。
- 楽しく調べたりまとめたりできるものの、学んだことが知識や理解につながっていないことが課題です。

理科

4年：やや上回っている
6年：市と同程度である

- 観察実験した内容に関して、理解できています。
- 学んだことが知識や理解として定着していないことが課題です。



- ※ 美野島タイムでの漢字・計算の反復学習により、「書くこと」「計算すること」の基礎学力が身に付いています。また、少人数指導により算数の基礎学力が向上しています。
- ※ 美野島タイムや社会科における資料の読み取りの指導の効果が表れています。
- ※ 社会・理科において、基礎・基本の力を身に付けていく必要があります。



3 そこで、今後、このように取り組んでいきます

国語

- 言葉の力を高め、書く力を高めるために
 - ・国語辞典を使う機会を増やします。
 - ・これまでと同様、漢字の読み書きの反復学習を行います。
 - ・帯タイムを中心に、視写音読を継続します。

算数

- 数学的な考え方を身に付けるために
 - ・1時間の学習に、自分の考えを書く時間を必ず位置づけ、具体的な操作や図をもとにして式を立てる学びを重ねます。
 - ・帯タイムや家庭学習で、単元の復習や文章問題に取り組めます。

社会



- 知識・理解の定着を促すために
 - ・地図帳を使う機会を増やします。
 - ・自分でキーワードを使ってまとめる学びを重ねます。
 - ・学んだことを振り返る時間を設定します。(単元末、学期末、学年末)

理科

- 知識・理解の定着を促すために
 - ・観察や実験を繰り返し行い、事実を基にした話し合いで考えを深めていこうにします。
 - ・前学年の学習内容を振り返ったり、前提となる知識技能は徹底して教えたりします。